

<タイプ1>

- ・ドラえもんの不二雄先生。今から調べることを考えるとワクワクする。
- ・司馬遼太郎の「人間にとってその人生は作品である」という言葉がとても良い。「自分にやらせてくださいと言える人」は、とても使えると思った。
- ・プリントに、大切なところをマーカーで線をひいてみた。うなずけるものばかりだった。この授業以外でも、大切なところにメモしたり線を引いたりすることを、くせにしたい。
- ・「なんにも知らないことはいいことだ」「本は読みすぎるとバカになる」が頭に残る言葉だと思った。司馬遼太郎さん。うぬぼれてまた勝とう！と意欲が湧いてくると考える。恥なんて恥ずかしくない。
- ・自分は忍耐強い方ではない。あまり共感できない。
- ・司馬遼太郎が人のことを広めていて、日本の歴史を作っているものだと感じた。
- ・人生鳥瞰図が分かりやすかった。司馬遼太郎→4大欲求だとしたら4つ目は教育
- ・司馬遼太郎の名言の中で「人として生まれたからには太平洋のようにでっかい夢を持つべきだ」という名言は自分の中でとても印象に残った。

<タイプ3>

- ・ネルソン氏。獄の中では、会話できる人も、回数も限られる。思考回路が自分の頭の中でループしてしまいそう。
- ・「自分に打ち込めるものがあるうちは、まだまだ青春期」この言葉に感銘を受けた。ワクワクする青春期という言葉だから。
- ・司馬遼太郎の言葉は印象に残った。是非記念館に行ってみよう。
- ・梅棹忠夫さんの「あきらめたらあかん」本を読む機会があれば、読んでみたい。
- ・司馬遼太郎、「男というものは思慮きわまれば常識・情勢をもって判断すべきではない。男たる者の道をもって判断すべきだ」が好きな言葉。
- ・岡倉天心が心に残った。東洋の理想が気になった。

<タイプ2>

- ・平山郁夫「才能とは持続することである」とても心に響いた。何事も持続をしようと思った。
- ・志賀直哉。先祖の功績なのにそれを自分のものとして誇っているせいで、自分の立ち位置を把握していないのではないかと感じた。
- ・先週の宮崎駿が印象に強く残っているので、宮崎駿をテーマにしようと思う。
- ・人生鳥瞰図を作ると、その人の人生や経歴などが分かりやすくなると思った。課題頑張ります。
- ・「偉人というのは、人に影響を与える人だ」というのに共感した。
- ・司馬遼太郎の「人間は決して孤立して生きられるようには作られていない」という言葉の深さが心に染み込んだ。
- ・梅棹忠夫さんの「なんにも知らないことはよいことだ」の言葉に感動した。
- ・失敗すること恐れてはいけないと改めて思った。
- ・エニアグラムの意見をはっきりと言うところはとても良くわかった。
- ・先生が紹介した本を読んでみようという気になった。また、合間に映像をはさんでくれたので、あまり集中力が切れずに講義に参加できた。
- ・司馬遼太郎の本は、まだ数冊しか読んでことがないので、もっと読んでみたい。
- ・東山魁夷の「時が過ぎ去っていくのではなく、私達が過ぎ去っていくのである」が感覚が違い面白いと思った。梅棹忠夫の「何も知らないことはいいことだ」という言葉が斬新だった。
- ・歴史に名を刻むためには多くの人にインパクトを与えないとならない。
- ・タイプ3の評判で、人を褒めるのが上手な人が多いのではないかと考えた。柳田國男さんの「学問は結局、世のため、人のためでなくてはならない」が一番良いと思った名言。

<タイプ4>

- ・メモ書きは、面白く為になった。
- ・ベンチャー企業で実践的に行われている技術を知りたい。
- ・タイプ4の人は変わっている人ばかりだと思う。
- ・良い言葉が多くて選べません。
- ・小説家というのは、その時代をあらわす人のようなものと感じた。一冊の本が多くの人に影響を与えるのは、偉人としてふさわしいと思った。
- ・「坂の上の雲」を読んだことがある。人に対する物事の考え方がすばらしいなと思った。
- ・自分に打ち込めるものがあるうちはまだ青春期
- ・レポートはイチローの予定
- ・マーク・ザッカーバーグ、映画「ソーシャル・ネットワーク」を観て、生き方に感銘を受けた。メモを取ることにする。大事。
- ・意外と人生は短い。「私にやらせてください。と言う人は偉くなる」→自分から積極的に行く。
- ・司馬遼太郎の言葉から、自信はつけても慢心はするな。教育することが一番の職業ではないかと考えている。教育は後継者の育成をする重大な職業だと思っている。

<タイプ5>

・司馬遼太郎の「勇気と決断と行動力さえ持ち合わせておれば、後のことは天に任せれば良い」に心打たれた。
 ・本を沢山読んで言葉を知ろうと思った。
 ・レポートは司馬遼太郎にする。
 ・司馬遼太郎が日本人に誇りと自信を植え付けた。今の日本人の生き方につながっていると思った。
 ・春学期の特別講義でノートを取っていた。完全にではないが通常の授業よりも内容を覚えている。日頃からメモを取ることは大切だと改めて感じた。自ら行動する人は成功する。は、参考になった。
 ・私にやらせてください。とは自分では絶対に言えない。「恥が人間を成長させる」と聞き自分から前に進んでたくさん恥をかいていこうと思った。
 ・司馬遼太郎を参考に見ようと思った。「教育する本能」というのが人間らしい言葉で良い観点だと思った。
 ・メモを取ることは重要だと知った。タイプ5の評判を見て、そんな風に思われていると思えない。
 ・司馬遼太郎が歴史の偉人である坂本龍馬を広めたのに驚いた。
 ・自分は引用しない。オリジナルだけ。が格好いいと思った。
 ・偉人にも色々なタイプがいると思った。
 ・「何も知らないことはいいことだ」が良かった。知らない方が常識に縛られなくてよいと思う。
 ・鹿島社長の「どうにかなるのではなく、どうなるかを考え調べどうするかを決める」という言葉が響きました。自分は結構行き当たりばったりの言動・行動が多いので、もう少し考えて行動しなくてはいけないと思った。
 ・司馬遼太郎の本は「坂の上の雲」くらいしか読んだことがなかったが、別の本も読んでみたいと思った。
 ・ネルソンマンデラの考えに共感した。レポートは野球選手にしたい。イチロー選手、筒香選手。王選手などで考えている。

<タイプ6>

・梅棹忠夫さん、1986年に65歳で失明しながら、1989年末までの3年間に単行本40冊も上梓される。あり得ない事だと思う。凄いなと思った。
 ・イチローにしようと思う。リーダーシップのある人になりたい。
 ・司馬遼太郎の遺言がとても心に残った。
 ・日本にはたくさんの偉人がいると改めて理解した。外国の偉人の話も聞きたい。
 ・司馬遼太郎の本を読んだことがないので、読んで見聞を広げたい。
 ・勇気を持って追害に正面から立ち向かっていったマンデラ大統領は凄い。目立つ人がこれから伸びる(恥をかくことは良いことだ)。
 ・2045年。シンギュラリティ。AIがAIを生む。恐怖を感じた。
 ・メモの大切さ。覚えることが苦手な自分は必ず必要なこと。
 ・司馬遼太郎「勇気と決断と行動力さえ持ち合わせておけば、後のことは天に任せれば良い」この先、不安に思っていることが、少し楽になったような気がした。
 ・司馬遼太郎「人間にとってその人生は作品である」人生という限られた時間をムダにすることなく生きていこうと思える言葉だった。
 ・就職にもエニアグラムを活用できるのか。自分は6番だが何が向いているのだろうか。昔、どんなことでも極めればそれで食べていくことができるという話を聞いて、それが自分の中で未だに残っている。
 ・課題の人物は手塚治虫にしようと思った。
 ・課題は早めに取りかかろうと思う。
 ・岡倉天心の名言が良かった。「九鬼と天心の民族主義的思想が当時の欧米化という圧倒的な流れの中で日本の文化と誇りをかじろうと守っている。ここは今日も私達が背負っている課題でもある」
 ・ニーチェについて書こうと思っている。
 ・「私にやらせてください」言いたいと言えない。司馬遼太郎の戦車の砲がヤスリで削れたというエピソードに驚いた。

<タイプ7>

・梅棹さんの言葉にはとても感心した。私にはやりたいことがたくさんある。もっと挑戦していきたく思う。
 ・リーダーとはイノベーション(革新)を起こせる人。才能とは持続すること。
 ・「坂の上の雲」は読んでみたい本。今すぐにも読みたくなった。「海賊とよばれた男」の主人公のモデルの出光佐三は偉人に入るのでしょうか？
 ・地元には坂の上の雲ミュージアムがある。行ったことがなかったが、この機会に行ってみたい。
 ・日本は日露戦争までは勝っていた。しかし、勝ったから負けたという事に私は驚いた。
 ・第二次世界大戦で日本が敗れたのは、単に兵力だけだと思っていたが、それだけではないことを知った。
 ・「敵とは争うのではなく、協力する道を探すべき」という言葉に興味を持った。

<タイプ8>

・取り上げる人は誰でもいいのですか？
 ・誰も選ばない偉人にしたい。
 ・古賀政男の過去に関して興味を持った。
 ・司馬遼太郎「人間にとってその人生は作品である」心打たれた。

<タイプ9>

- ・坂本龍馬を有名にしたのが司馬遼太郎！
- ・常にどうするかというビジョンを持ち、実行しなければどうにもならない。大学の内にチャンスは十分あると思うので、そのチャンスを逃さないようにしたい。
- ・エニアグラムは正しい。
- ・エニアグラムについての本を見てみたい。対応の仕方を学んでいけば人付き合いも上手くなれそう。府中市にゆかりのある齊藤茂太さんにしたいと考えている。
- ・私にやらせてくださいと自ら行動に移せる人は成長する。今日、この言葉が一番心に残った。
- ・梅棹忠夫さんは候補の一人。
- ・失敗しても自分からやるという気持ちを持ってば次ぎにつながり、失敗から生まれる発見もあると思う。
- ・古賀政男。自宅を仕事場にすることは、ONとOFFを凄く上手に使い分けられる人なんだと思った。
- ・梅棹忠夫「本を読みすぎるとばかになる。読む本数をなるべく減らしてその分歩いて自分の頭で考える」この言葉は珍しいと思った。
- ・影響力を与える人が偉人となる。
- ・岡倉天心「美しく生きてきた者だけが美しく死ぬことができる」この言葉に興味を持った。
- ・また図を書ける 때가来た！と思った。三浦大輔さんにしようと思う。

<タイプ?>

- ・メモを取ることは、習慣的に実践したいと思った。
- ・日本が鎖国していなかったら日本が世界の中心だったという話にはとても夢があった。
- ・持続するということが、とても重要だと思った。
- ・司馬遼太郎記念館に行ってみよう。
- ・日本への回帰の人物達が凄いなと思った。
- ・筒井康隆
- ・「坂の上の雲」の作者を知った。是非読んでみたい。
- ・司馬遼太郎の「龍馬がゆく」以前読んだことがある。
- ・「どうにかするには計画を立てる」という言葉から、もっと計画をたてて大学生活を送れば良かったと後悔している。もっと時間を有効的に使えば良かった。残りの時間だけでも計画をたてたいと思える言葉だった。レポートはスティーブ・ジョブズ。
- ・身近の尊敬している人と、後藤さんで、悩んでいる。
- ・偉人達の言葉は普通ではないので、とても心に残ると思った。
- ・AIの話があったが、今後、ロボットに負けないよう、自分のやり甲斐を見つけることが大切だと感じた。
- ・プロのスポーツ選手を色々と調べてみたい。
- ・人間はその都度その都度成長していく。失敗は恥ではない。価値観を大切にすること。
- ・メモをとること、図解にすることは大事。
- ・偉人の話はとても参考になるものが多い。このような授業は非常にめずらしい。
- ・海外かぶれではなく、日本の意識を持った偉人を選びたいと思う。

- ・早くレポートを書く偉人を考えようと思った。
- ・司馬遼太郎さんは凄いなと思った。本を読みたい。授業で偉大な人を知った。私は知らないことが多すぎるので、もっと調べていきたい。
- ・興味が湧いた人は古賀政男です。
- ・先生が生徒を導く、生徒の意見も聞くことができた。レポートを頑張りたいと思う。
- ・自分がいかにぬるい人生を送っていたかが分かる。私は可能なら、司馬遼太郎の弟子になりたいと思った。
- ・素晴らしい名言に感動した。
- ・もっと自分の考えを広げようと思った。
- ・司馬遼太郎の言葉で心に残った言葉があった。「勇気と決断と行動力さえ持っていれば、あとは天に任せれば良い。」
- ・「坂の上の雲」40代の全てを1つの作品に費やせる、ということが、凄いなと思った。
- ・メモをとること。意見を持った時は発言をする。
- ・中学2、3年の時の先生が、私の中では偉人でありモデルな気がする。「先生」という職業を先生という存在に出会わせるきっかけを作った古代ギリシャの哲学者アリストテレス、日本では足利学校を作った人物たちもすてきな人だと思う。
- ・司馬遼太郎の体験の関係性を知った。
- ・司馬遼太郎の「人間は決して、孤立して生きられるようには作られていない。」に共感した。人は必ず、人対人で生活をしていると改めて思った。